

2019年度 社会福祉法人 誠真会 事業報告

介護保険事業であるグループホームなががしまの本年度の稼働率は98%となり、昨年度の稼働率99%と比べ低下はしているものの稼働率としては限界に近い数値になっております。介護保険事業収入は前年と比べ、ほぼ横ばい（前年比△0.5百万円）でありました。近年、介護人材不足は深刻化し、今年度も従業員確保の為、賃金を大幅に引き上げました。また、社会福祉法人として社会的な役割を鑑み、低所得で生計が困難である者に対し、利用者負担を軽減するケースが多く発生いたしました。このことから、人件費増、収益力の低下を招き、当期利益は△14百万円となりました。今後は、いかにして介護保険事業の収益力を高めるかが課題となっています。

活動では、季節感のある行事を実施、また、保育所「キッズプラザなががしま」との連携を図り、夏祭りなど、子供たちと一緒に楽しく参加できる催し物を多く企画しました。

次に、企業主導型保育事業について、「キッズプラザなががしま」は平成30年9月に外部委託から自主運営に移行しており、本年度は、通年で自主運営による決算となりました。保育所職員全員を当法人での雇用としたため、人件費は15百万円増加しましたが、一方で業務委託費は17百万円減少し、利益の増加要因となりました。

保育事業収入はほぼ横ばい（前年比1百万円増加）でしたが、事務費の大幅な減少により、当期利益は前年比で16百万円の増加となりました。

今年度より処遇改善加算を算定し、質の高い保育を安定的に供給していくために、職員の知識・スキル向上を目指し、キャリアアップ研修等、外部研修への積極的な参加や勉強会を行い、人材の資質の向上に取り組んでいます。

施設管理では、より安全な保育所を展望、救急活動に備えてAEDを設置しました。また、低年齢児でも安心して遊ばせることができる遊具の設置、トイレ用のトレーニングベンチの設置をおこない、施設の充実を図っています。

社会福祉法人全体では、事業収入は前期比2百万円増加、当期利益は同1百万円増加し11百万円を計上しました。

今後とも地域の皆さまから信頼いただけるよう、地域との交流を一層より深めるとともに、良質なサービスの提供を持続し、地域福祉の発展に努めてまいります。